

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

秘

未定稿

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80

朱書

東京大学 経済学部 図書印
21
7
7

工場及職工ニ關スル事項ノ調査ニ就テハ先年以來調査事項ノ綱目ヲ定メ各地方ニ出張シ各室ノ工場ニ就キ其實況ヲ視察シ且職工ニ關スル事情ノ如キハ表面ノ視察ノミニテハ往々事實ノ真相ヲ知悉スルコト能ハサルヲ以テ機會ヲ得ル毎ニ工業主事務負技師或工等ニ就キ胸襟ヲ披キテ會談ヲ遂ケムコトヲ務メ其ノ他官立工場廳府縣等ヨリ定期又ハ臨時ニ報告ヲ求ムル等種々方法ニ依リ材料ヲ蒐集シ事實ヲ詳悉スルニ勤メテ而テ各員ノ視察シタル事項ハ隨時之ヲ復命シ或種ノ工場及職工ニ關シテハ特ニ其概況ヲ記述編纂シ又蒐集シタル統計其他調査ノ成績ハ便宜之

ヲ処理セリ而テ調査ノ進行ニ伴ヒ諸般弊害ノ存
スルトコロ及之ヲ矯正ノ方法等大体之ヲ明ニス
ルヲ得タルヲ以テ此ニ其要領ヲ記述セントス

一、工場及戦工ニ關スル弊害

惟フニ工業ノ進歩ニ從ヒ弊害ノ之ニ伴フハ数ノ
免レサル所ニシテ殊ニ機械力及化學作用ヲ應用
スルト多數ノ幼者婦女等ヲ集中スルトヨリ幾多
ノ危害之ニ伴フモノアルニ拘ラス工場ノ設備ハ
不完全ニ戦工徒等ノ使用及取扱方ハ不規律過度
ナル等ノ爲動モスレハ公衆ニ危害ヲ加ヘントレ
又ハ労働者ノ生命健康道德風紀ヲ害シ延テ産業
社會ノ秩序發達ヲ阻害スル等工業ノ前途ニ於テ
憂慮スヘキモノアルト同時ニ之ヲ衛生上ヨリ觀

察スルモ教育上ヨリ觀察スルモ時々之ヲ社會ノ
公安秩序上ヨリ觀察スルモ深ク憂慮スヘキモノ
アリ今ニ於テ之ヲ矯正スル策ヲ講スルニ非スハ
國家ノ前途ニス測ノ患害ヲ貽サントス
各種ノ工業ニ關シ各地方ノ工場及戦工徒等ニ就
キテ其実況ヲ概括記述スルハ至難ナルヲ以テ試
ニ大体ヨリ觀察シテ工場及戦工徒等ニ關スル弊
害ノ要領ヲ掲ゲン素ヨリ弊害ノ一斑ヲ示スニ過
キサレハ之ヲ以テ一切ノ事情ヲ網羅セリトナス
ハカラサルト同時ニ是等ノ弊害ハ各種各個ノ工
場何レニモ存在セリトナスヘカラサルハ勿論ナ
リ或種ノ弊害ハ室ニ或種ノ工場ニ存スルコトア
リ又同一種類ノ工場トテモ工場ニ依リテハ或種

ノ弊害ナキモノアリ但何レノ種類何レノ工場ト
モ多少是等ノ弊害アルハ免ルヘカラサル所ニシ
テ其全然何等ノ弊害ヲ存セサル工場ハ殆ムトモ
ナレト云フテ可ナリ

建物ノ危険ナルト否トハ地形土臺足堅メ柱筋
違間柱通貫胴指軒桁楣狹ミ林二階以上ノ床ノ
梁根太小屋組材料煉瓦壁ノ厚サ板柱科ノ如何
並ニ施工ノ方法等ニ依ルモノナルニ是等ノ点
ニ傾斜ヲ来シ或ハ少ク強キ風ノ爲ニ倒ルモノ
ノアリ二階床ノ下カトルモノ小屋梁ノ垂ル
モノ等アリ又大ナルフシヤフトヲ過小ナル梁ニ
吊シ若ハ動力ニ對スル設備ヲ缺ケル爲建物ニ

著キ震動ヲ起シ壁ニ亀裂ヲ生セルモノアリ工
場建築ノ取締ヲ爲セル地方ノ経験ニ徴スルニ
工場ノ新築改築等ヲ出願セル圖面仕様書中構
造ニ關スル事項ニ缺點多キヲ以テ見ルモノ其取
締ヲ行ハサル場合ニ於テ構造ノ不完全ナルモノ
ノ少カラサルハキハ疑ヲ容レサル所ナリ
工場内空氣流通ノ如何ハ職工ノ衛生ニ關係多
キコト勿論ナルニ空氣換ヲ設リルカ如キ時ニ
空氣ノ流通ニ注意スルモノ極メテ稀ナルノミ
ナラス窓ノ如キモ僅ニ採光ニ差支ナキヲ期シ
換氣ノ点ヨリ窓ノ配置構造ニ注意ヲ加フルモノ
ノ甚タ大ナル從テ室内ノ空氣腐敗セルモノ多
ク或ハ塵埃臭氣有善瓦斯ノ室内ニ停滯セルモノ

ノマリ又之ニ及シテ寒風湿氣ヲ防クノ用意ヲ
欽クモノマリ

火災ヲ起シ易キ物品ヲ取扱フ工場、石油燈火ヲ
使用シ夜業ヲ行フ工場、多数ノ戦エヲ使用スル
工場、殊ニ二階以上ニ之ヲ使用スル工場等ニ於
テモ出入口非常口、通路階段戸ノ配置、敷造
等ニ避難ノ注意ヲ爲スモノ甚々特ニ避難ノ
装置^{ヲ設テ}ハ器具ヲ備フルモノ、如キハ極メテ稀
ナリ、工場ニ依リテハ非常口ニ堅固ナル鎖鑰ヲ
施シ、通路ニ貨物ヲ堆積シ、階段ニ板ヲ列ベテ貨
物ヲ上下溜湊セシメ、窓ハ總テ鐵棒ヲ以テ嵌殺
シト爲セル等一朝不時ノ災厄起ルトキハ多数
ノ戦エヲシテ惨死ヲ遂ケシムルノ虞アルモノ

ナレトモ
紡績工場其他大工場、殊ニ火災保険ヲ付シタル
工場ニ於テハ防火及消火ノ設備ニ注意ヲ爲ス
モノ漸ク多キニ至シ、ルカ如キモ、燐寸工場、石油
工場其他發火性又ハ易燃質ノ物品ヲ取扱ヒ若
ハ竈爐ヲ用ユル工場等、殊ニ小工場ニ於テハ防
火ノ設備ヲ欽クモノ多ク消火ノ器具ヲ備フル
モノ不完全者ハ個數少ク不時ノ際實用ヲ爲サ、
ルノ感アルモノ少カラス又易燃質ノ物品ヲ取
扱フ工場ニ於テ石油燈ヲ用イ而モ其取扱ニ充
分ノ注意ヲ爲サ、ルモノアリ
生糸、鐵工、精米等ノ小工場ニ於テ使用スル汽罐
ハ設計製作、掘付共ニ不完全ニシテ、附属品ノ規

整ヲ欠キ就中汽壓計安全弁インゼリトル驗水
 器ノ如キ主要ナルモノニ付テモ其規整ニ注意
 スルモノナシテ大失運轉手ハ概素人ニシテ非
 常ノ際應急ノ処置ヲ施スノ技術ヲ備フル者ナ
 キハ勿論日常ニアリテモ汽罐ヲ適當ニ使用シ
 得ル者ナシ又罐内ノ掃除行届カス湯垢ノ堆
 積スルヲモ顧ミス焉ニ局部ヲ過熱シテ脹出ヲ
 生ゼタルモノアリ加之往々船用古汽罐ヲ購入
 シ高壓ヲ以テ之ヲ使用シ安全弁ニハ過重ヲ負
 ハシノ或ハ安全弁ヲ布片ニテ緊縛シテ制限汽
 壓ヲ超ヘ使用スルカ如キ危險ナル取扱ヲナス
 モノアリ之ヲ以テ往々汽罐ノ破裂損壞ヲ招ク
 コトアリ又紡績造船等ノ大工場ニアリテハ前

陳、如キ弊害ヤナキモ取扱上不注意ナルモノ
 ナキニアラス焉ニ不測ノ損害ヲ生スルコトアリ
 汽機及機械ノ運轉部就中勢輪、曲柄、クロスヘツ
 ト其他動力傳導ノ車軸調車調帶又ハロープ等
 車ノ喰合セ、ロール等ニシテ其位置構造等ニ依
 リ殊ニ危險ノ虞多キニ拘ラス危害豫防ノ裝置
 ヲ設ケサルモノ多ク又ミエールノ如キ機械ノ
 運轉部ト他ノ固定物トノ間ニ充分ナル間隔ナ
 ク織機ニシヤトルガドナク機械鋸ニ被覆ノ
 設ケナク又起重機、巻揚機械、昇降器等ニ危險豫
 防ノ裝置ナキ爲職工ノ負傷スル場合ナカラス
 外國製ノ新式機械ヲ輸入シタルモノニ製作國

ノ法規慣例ニ依リ被覆ヲ設ケタルヲ見ルト
 アルニ中ニハ此被覆サハ操業上支障アリトシ
 テ取外シタルモノアリ之ヲ要スルニ機械ノ運
 轉ニ伴フ危険ノ豫防ニ注意スルモノハ甚稀ナ
 ルカ如シ
 化學的ノ作業ヲ行フ工場ニ關スル危害ハ著大
 ナル影響ヲ四隣ニ及ボス場合ニハ隣人ノ苦情
 ヲ惹起シ其局危害豫防ノ設備ヲ爲シタル事例
 アルモ多クハ長日月ノ間ニ不知不識危害ヲ隣
 人又ハ職工徒等ニ及ボスモノナリ殊ニ是種ノ
 工場中ニハ廣闊ナル地域ヲ要セス特別ナル設
 備ヲ要セサル爲人家密集セル地ニ散在セルモ
 ノ少カラズ而テ有害瓦斯ヲ散散シ有害液ヲ流

6
 出セシムルモノアリ例ハ塩酸、硝酸、硫酸、燐、塩
 酸加里、水銀劑、鉛及鉛合金、鉛丹、鉛白、晒粉、亞鉛等
 有害ノ料品ヲ製造シ又ハ使用スル工場ニ於テ
 有害液有害瓦斯ノ近隣ニ流出散スルヲ豫防
 スル爲ニ必要ナル設備ヲ設キ又此等ノ有害料品
 ヲ取扱フ職工徒等ノ爲ニ特ニ衣服ヲ給シ食堂
 ヲ設ケ洗滌所浴場等危害豫防ノ方法ヲ設ケサ
 ルモノ多シハ工場ニ在リテハ工場主モ亦其物
 品ノ學術的名称ヲ知ラスレテ俗稱ヲ以テ之ヲ
 呼ビ僅ニ人体ニ宜敷カラサルモノナリト記憶
 スル位ナレハ職工徒等ニシテ其物質ノ何タル
 ヲ解セサルハ勿論顔面鼻口手足等ヲ洗滌スル
 コトナク有害藥品ノ間ニ躊躇シテ食事スルモ
 六

ノアリ斯ル位未ナレハ藥品ノ種類等ニ依リ知
者ヲシテ取扱ハシメサル杯ノ注意ハ得テ望ム
ヘカラス

職工徒穿ハ場内ニ塵埃充滿シテ吸及ヲ并セサ
ルニ至ルモ僅ニ手拭ヲ以テ鼻口ヲ覆フ位ニ止
レリ紡績工場ニ於テハ解綿打綿及梳綿機ニテ
生スル塵埃ヲ吸收シテ屋外ニ排除シ瓦斯燒室
ニ於テ換氣作用ヲ爲スヲ普通トスレトモ作業
ノ要部ヲ占ムル初紡機間紡織精紡織ニテ生ス
ル綿塵ハ室内ニ充滿シ之ヲ排除スルノ設備ヲ
爲サハルハ勿論周囲ノ窓ハ操業上支障アリト
云フヲ以テ曾テ之ヲ^開閉^ノ役^ハハト爲シ或ハ一度
設ゲタル窓ヲ煉瓦ニテ潰グセルアリ其他劔子

工場ノ削骨室 於テ吸塵器ヲ設ゲタルモノ等
稀ニ之ヲ見サルニ非サルモ要スルニ是種ノ危
害ニ対スル豫防ノ方法ハ極メテ不完全ナリト
云フテ可ナリ又肥料工場セメント工場製革工
場護謨引工場臭油其他動物質ヲ取扱工場等ニ
於テ惡臭ヲ發シ製紙工場漆物工場製革工場等
ニ於テ多量ノ汚液ヲ排出シ近隣ニ障害ヲ及ホ
スモノヤリ
精米場鐵工場製釘場印刷場其他原動力機ヲ装
置セル工場ニシテ其位置ノ不適當ナル處又ハ
除害ノ設備不完全ナル處震動騒音ヲ發シ近隣
ニ障害ヲ及ホスモノ多シ
煉瓦煙突ノ地形ノ方法不完全ナルカ爲傾斜ヲ

ヲ束シ煉瓦積ノ厚サ不允ナルカ爲若ハ粘接
料ノ不適當ナルカ爲龜裂ヲ束シ風震災等ノ際
容易ニ倒壊スルモノアリ又鐵製煙突ニアリテ
ハ鐵板薄キモノ多ク數年ナラスシテ腐蝕ニ爲
ニ倒壊スルコトアリ煙突ノ掃除不行届ナル爲
ノ紐々火災ヲ起スコトアリ殊ニ鐵製ノ小煙突
ニアリテ然リトス煙突ノ位置及其高サ不適當
ニシテ甚シキ黒烟ヲ發散シ近隣ニ害ヲ與フル
大ナルモ消煙ノ設備ヲナサ、ルモノ多シ
紡績工場其他多數ノセエヲ使用スル大工場ニ
於テハ寄宿ニ相當ノ設備ヲ爲スモノ多キモ生
糸工場織物工場ノ如キハ寄宿舎ヲ設クルモ概
不完全ニシテ特ニ避難ノ設備ニ注意スルモノ

稀ナリ爲ニ多數ノ戦エヲシテ燒死セシメタル
コトアリ寄宿舎内外ノ清潔方法ハ概シテ不允
分ニシテ生糸工場織物工場ノ如キニハ物置ノ
一隅等ニセエヲ密集寄宿セシムルモノセカラ
ス
救育人乃至數千人ノ戦エヲ寄宿セシムル工場
ニ於テハ病者ニ對シ相當ノ病室ヲ設ケ醫師看
護婦ヲ常置スルノ必要アルニ拘ラズ寄宿舎ノ
一部ヲ以テ病室ニ充テ附近ノ開業医ニ特約シ
テ其來診ヲ求ムルニ過キサルモノ多シ中ニハ
二三人ノ醫師看護婦ヲ置キ特別ノ病室ヲ設ク
ハモノアレトモ任務ノ設備及病室ノ管理ハ概
不完全ニシテ爲ニ傳染性ノ病ヲ傳播スルノ虞

或ハ直接公衆
ニ危害ヲ及ボシ

アルモノ多シ
塵埃飛散シ若ハ有害物ヲ取扱ヒ又ハ多数ノ職
工ヲ使用スル工場ニ於テモ寄宿舎ノ設ケアル
場合ヲ除キ、外食堂ノ設ケ我工ヲシテ作業
室内ニテ食事セシムルモノ多シ食堂ノ外別ニ
和所ヲ設ケルモノ、如キハ殆ト之ナシ食堂
便所等ハ概シテ掃除不充分ナリ
以上ハ主トシテ工場ノ位置構造及設備ニ関スル
缺點ニシテ或ハ職工徒身ノ生命健康ニ危害ヲ加
フルノ虞アルモノナリ而テ其公衆ニ直接ノ危害
ヲ及ボスモノハ勤モスレハ關係者ノ物議ヲ惹起
シ之ヲ匡正ノ機會比較的多キモ職工徒身ニ危害
ヲ與フルモノハ多クハ雇主被雇者共ニ之ヲ看過

スルヲ普通トハモ工場、寄宿舎ノ構造避難ノ設
備等ニ関シテハ近時震災火災等ニ際シ職工徒身
ヲ慘死セシメタルノ事例アルヨリ漸次行政上ノ
取締ヲ見ルノ傾向アリ

工場ノ位置、構造、設備ニ関スル弊害ハ概外形ニ顯
ハレ危害ノ及フ所徒テ著明ナルモ職工徒身ノ傷
害及取扱等ニ関スル弊害ハ多クハ社会ノ裏面ニ
隠ル、ヲ以テ勤モスレハ世人ノ看過スル所トナ
ラントス而モ其弊害タル深ク社会ノ根柢ヲ侵シ
患ヲ他年ニ貽スコト大且深キモノアリ今是等ノ
弊害ノ一斑ヲ述ベレ

罽毐、紡績硝子、既通バーナ鈕等金属品、貝鈕印刷卷
煙草等ノ諸工場ニ於テハ七八歳乃至十二三歳ナ

9
署便

ル幼者ヲ傭使シ之ヲシテ成年者ト同様長時間、
労働ニ従事セシメハ徹夜業ニ従事セシムル
モノアリ是等ノ幼者ハ全然無教育ニ成長シ且多
数無教育者ノ中ニ交リ夙ニ其惡徳ニ感染ス加之
其儲得タル賃金ハ買喰等ニ浪費シ中ニハ年長者
ニ立交リテ早ク已ニ賭博ヲ覺ユルモノアリ其幾
分家計ヲ裨補スルモノ、如キハ寧ナキカ如シ
多数ノ職工中ニハ或ハ中學校ノ科程ヲ修メタル
者法律經濟其他専門學ノ端緒ヲ窺ヒタル者等之
ナキニ非サルモノ大體ニ於テ現時ノ我ハ全然無
教育者ト看做シテ可ナリ然ルニ現在ノ成年職工
カ一般ニ無教育ナルコトハ已往ハ追フヘカラス
止ムヲ得サルノ事態ナリトシテ漸ク之ヲ忍フヘ

シトスルモ多数ノ未成年者ハ何等ノ教育ヲ受ク
ルコトナクシテ壯年職工ノ群ニ入りツ、アリ多
数ノ少女ハ將來家庭ヲ作ルヘキ素養ト氣質トヲ
缺キ溜々トシテ墮落シツ、マリ殊ニ幾多ノ學齡
児童ヲ國民教育ヲ受クルコトナク且心身ノ發育
ニ妨ケアルヲ顧ミス無教育ナル多数男女ノ間ニ
伍シテ惡感化ヲ受ケツ、アルハ前ニ陳テ
所ノ如シ工場ニ依リテハ職工教育ノ施設ヲ爲セ
ルモノナキニ非ヌ多数ノ幼少年者ヲ寄宿セシム
ル工場ニ於テハ申譯トシテ幾分ノ注意ヲ我ニ教
育ニ加フルノ狀況ナリ其方法トシテハ寄宿舎ノ
一部ニ教場ヲ設ケ事務員又ハ附近ノ小學校教師
ニ囑託シテ三時間位小學科程ヲ教授スルモノヲ

普通トス中ニハ特別ノ校舎ヲ設クルモノモアリ
然レトモ何處ハト皆十二時間以上ノ労働ヲ了ヘタ
ル後疲労シタル子第ヲ捉ヘテ文字ノ教育ヲ
試ムルモノナルヲ以テ子第ノ脳裏ニ教育ノ初果
ヲ印スルコトハ得テ望ム可カラズ然レモ大
抵之ヲ厭ヒ狡猾ナル者ハ互ニ申合セテ交番ニ
場ニ入ルコト、シ以テ形式上其責ヲ塞クモ又
リ之ヲ要スルニ此種ノ教育ハタトモ多少ノ例
アリトスルモ概シテ全然無効ナリト云テ可ナリ
又工場ニ依リテハ一月一二月僧侶ヲ聘シテ宗
教道德ノ講話ヲ乞ヒ切煙會ヲ開キテ衛生演説ヲ
聞カシムル等ノ方法ヲ採ルモノアリ是等ハ却テ
多少ノ好果ナキニ非サルカ如キモ素國民ノ教育

虐待

ノ素養ナキ子第ナルヲ以テ眞面目ニ耳ヲ傾クル
者ハ稀ニシテ其効力ノ薄弱ナルコトハ言ヲ俟タ
ス
我ユヲ殴打シ監禁スルノ類ハ小工場ニ於テハ今
尚全ク其跡ヲ残タス大工場ニ於テハ稀ニ逃亡ヲ
企テタル者竊盗ヲ爲シタル者等ヲ監禁シ殴打シ
又ハ裸体ト爲シテ場内ヲ引廻ハス等ノコトナキ
ニ非ストモ
然レトモ我工徒第ノ使用上ニ甚大ニ
上彼等ノ衛生幸福ヲ慮ラス其結果ハ却テ時ニ
折シ監禁スルノ類ヨリモ我工徒第ノ生命健康ニ
大ナル危害ヲ加フルコトアリ
紡績工場ノ大ナルモノニハ大抵医師ヲ常置シ寄

宿者ニシテ疾病ノ爲休業セムトスル者ハ必ス此
医師ノ許可ヲ受ケサルヘカラス然ルニ常置ノ醫
師少キヲ以テ其繁忙ナル利便一々ノ患者ニ封シ
周到ナル診察ヲ爲スコト能ハス且多數女工ノ中
ニハ虛病ヲ申立ツル者モ往々之ナキニ非サルヲ
以テ疾患ヲ訴ヘ休業ノ許可ヲ請フ者アルモ僅ニ
脈搏ヲ診シ名ヲ檢スル位ニ止マルハ勿論甚シキ
ハ外貞ヲ望見セルノミニテ叱咤シテ工場ニ入ラ
シムルカ如キ場合ナシトモ且工場ニ常置セル
医師ハ多クハ學識ナキ徒來医ニ非サレハ無怪驗
ナル書生上リニシテ顧問又ハ囑託ト称シテ醫學
士等ノ名ヲ列スルモアルモ是等ハ單ニ名義ヲ
掲グルルカ然ラサルモ稀ニ來診スルニ過キス此ノ

如キ~~不~~ナル醫務ノ設備ヲ以テシテ而モ救
千ノ世工ニ封シ医師ノ許可ヲ受クルニ非サレハ

休養ヲ許サレノ制ヲ設クルカ如キハ之ヲ虐待
ト称スヘカラストスルモ其結果却テ故意ノ虐待
ヨリモ甚シキモノアリ

以上ハ醫師ヲ常置セル大工場ニ就テ云ヘルモノ
ナリ若夫生糸工場織物工場其他中以下ノ紡績工
場等ニ於テハ醫師ヲ常置セサルヲ以テ寄宿舎ノ
室長及係員タル者工世ヲ強テ工場ニ出シタル
ハ勿論事業ノ繁忙ナルニ當リテハ工場監督者ハ
彼等ヲ叱咤シテ業ニ就カシムルナリ是ヲ以
テ彼等ハ時ニ病ヲ推シテ就業セサルヘカラス其
末遂ニ不治ノ疾病ニ陥ルモノアルヤ疑ヲ容レヌ

筋續或十一肺病助膜交等入惠昔多

年者殊ニ十二三歳以下ノ幼者ニモ徹夜業ヲ爲サ
 シムルハ衛生上極メテ有害ニシテ多数ノ病者ヲ
 生スル一大原因タルコト亦疑ヲ容ルヘカラス蓋
 シ夜間ハ人身ノ状態外部ノ事情ニ侵サレ易キモ
 ノナルノミナラス晝間ノ就寝ハ経験者トモ五時
 間以上ノ睡眠ヲ取リ得ルコト稀ナリト云フ加之
 晝間ハ夕トモ睡眠ヲ爲ストモ外部ノ刺激アリテ
 完全ナル熟睡ヲ得機能ノ恢復ヲ求メ難シ故ニ徹
 夜業ハ成年男子トモ堪ヘ難キ所ニシテ往々健康
 ヲ害スルモノアリ況ヤ外部ノ事情ニ侵サレ易キ

婦セケ年者切者ニ於テオヤ
紡績工場ニ於ケルエセハ概立業ニシテニ六時中
意々トシテ機械ノ運轉ニ追ハレ其鳴動スル中ニ
塵埃ニ蔽ハレ而モ湿氣多キ高熱ニ蒸サレツ、汚
働スルハ而テ労働時間ハ昼夜交代十二時間ヲ
成規トスレトモ、二三時間ノ居残、日常ノ事ニシ
テ又至月一二回ハ交代日ニ半日ノ居残掃除ヲ爲
ス事業ノガク繁忙ナルニ際シテハ交代日ニ概
ノ運轉ヲ停止セシテ半日突居残掃除早出ヲ爲サシ
メ各十八時ノ就業ヲ爲サシムルハ勿論昼業十二
時間ヲ了メタルセユヲシテ夜半又ハ翌朝迄居残
掃除ヲ甚シキハ其翌日ノ夕刻マテ居残ヲシムル
モノアリ日結局同一ニセケラニテ二十四時間乃至一

十六時間ヲ通シ勞働セシムルコト、ナルナリ
生糸工場ニ於テハ地方ニ依リ日出ヨリ日没ニ至
ルマデヲ就業時間ト爲スモノヤレトモ或ハ日出
前ニ就業シ或ハ夜業ヲ爲シ冬季ト爲ス十三四時
間乃至十五六時間ニ至ルモノアリ生糸工場ニシ
テ就業時間ノ長キコトハ恐クハ諏訪地方ヲ以テ
全國ニ冠スルコトヒシ此地方ニ於テハ一日十七八
時間ニ達スルコト必スシモ稀ナリトモ或ハ時
計ノ針ヲ後戻リセシメ各工場申合テ終業時ノ汽
笛ヲ廢シユセテ正當ノ時刻ヲ知ラサシム
ルカ如キ、奇策ハ此地方ニ於テハ往々見聞スル
所ナリサレドモ~~之ヲ極ムル~~就業時間ノ長キハ織物工
場ニ苦クモ~~ノナカ~~ニ就中埼玉、福島、岐阜、

ノ如キハ概シテ最長キ地方ナラン織物工場ハ概
日出ヨリ就業シ夜業ハ九時乃至十時ニ至ルヲ常
トスルカ如キモ前記地方ノ如キハ或ハ十一時乃
至十二時ニ至ルアリ織物工場ニ於テハユメノ一
日ニ織上クヘキ最少限ヲ定メ其織上ケ高此定限
ニ達シタレハトテ定時間前ニ終業スルコトヲ許
サ、ルモ若定限時限内ニ此定限ニ達セサルトキ
ハ之ニ達スル迄時間外居残ヲナサシムサレバ工
女ハ場合ニ依リ午前一二時頃迄モ懲罰的居残ヲ
命セラル、コトナレトモ又製品ノ賣行宜ク仕
事ノ繁忙ナルニ當リテハ居残徹夜ヲ爲サシメラ
ル、コトアリ是等ノ場合ニ於テ或地方ノ工業主
ハ白銅貨ヲ機台ニ釣リ明朝迄ニ織上ケタルトキ

ハ之ヲ賞與スヘシト申聞ケ以テエ女ヲ獎勵セル
者アリト聞ケリ経験ニ富メル某工場ノ管理者ハ
曰ク余ハ余ニ充分ナル資金ヲ與ヘハ期月ニシテ
刑辟ニ觸ル、ゴトナクシテ余カ我工ノ過半ヲ殺
スコトヲ得ント氏曰ク我工ハ之ニ賃金ヲ増給セ
ハ死ニ至ルマテ勞働スルモ敢テ辞セサルナリト
織物工世ノ就業時間ノ長キハ概シテ紡績生糸ニ
過クト至機械力ニ伴ヒ一整ニ勞働スルモト異
リ個々ニ勤作スルモノナルヲ以テエ女ハ比較的
進退ノ自由ヲ有レ工業主ノ極メテ苛酷ナルニ非
サル以上ハ身体ノ加減等ニ依リ多少骨休メヲ為
スコトヲ得為ニ紡績工世ニ於ケルカ如ク著ク健
康ヲ害スルゴト比較的少キモノ、如シ生糸工場

休憩時間

モ亦概シテ勞働時間長キモ機械ノ性質、原料ノ種
類、作業ノ方法等紡績工場ニ比シ職工ノ健康ニ危
害ヲ加フルコト少キカ如シ之ニ反シテ紡績工場
ニ於テハ機械ノ鳴動、塵埃、場内ノ湿氣、高熱
其他工世ハ立業ニシテ殊ニ徹夜業ヲ行フヲ以テ
職工殊ニ婦女、幼少者ノ健康ヲ害スルコト甚シキ
モノアリ
休憩時間ハ多クノ工場ニ於テ之ヲ給スルノ成規
アルトモ概シテ有名無實ナリ出来高掛ノ賃金ヲ
受クル者ハ監督者ノ威嚇ニ服シテ休憩時間ヲ削
削サル場合多シ休憩時間ヲ利用スヘキ適當ナ
ル場所ノ設備ナキコトモ亦休憩時間ヲ有名無實
ナラシムルノ一原因ナリ甚シキハ休憩時間ノ成

職工負傷

規アルニ拘ラスナ五六時間ノ長キ間寸時ノ休憩ヲモ興ヘス食事ノ如キモ機械ニ対シタル終握飯ヲ食ヒシムルコトアリ或ハ食事時間ハ五分ヲ過クハリラストノ規則ヲ設ケ之ヲ勵行スルモノアルハ生業ニ与ル之コトナリ

紡績工場等系動力ヲ使用スル工場ニ於テ幼少者及婦女ヲシテ運轉中機械ノ危険ナル部分ノ掃除調華ノ取外シ等危険ナル業務ヲ爲サシムルモノアリ又幼少者婦女未熟ノ我工等カ機械ノ性質ヲ充分理解セサル爲不知不識危険ヲ犯スコトアリ就中工場ニ於ケル規律ノ整備セサル爲幼少者婦女又ハ未熟者ニシテ自己ノ担当以外ノ仕事ニ

手ヲ出シ爲ニ死傷スルコトナカラス例ハ危険ナル仕事ノ担当者カ規律的ニ就業セサルカ爲危険ト知リナカラモ運轉中ノ機械ニ対シ自ラ働作ヲ爲スニ非サレハ徒手ニテ時間ヲ経過セサルハカテサルコトアリ爲ニ仕事ノ出来高及賃金ヲ減スルヲ以テ進テ危険ヲ犯サハルカラサル場合アリ而モ工場主ニシテ深ク此種ノ事情ヲ講究シ我工徒第ヲシテ死傷ヲ免レシムルモノサキカ如シ是等ノ工場ニ於テ傳動軸ニ卷上ケラレ悲惨ノ死ヲ遂ケ又ハ腕ヲ切斷セラル、ノ類重大ナル負傷ヲ受クル者少カラス又身体ノ一部ヲ毀損シ永久不具瘡疾ト爲ル者多シ又汽罐ノ破裂工場寄宿舎ノ火災等ニ依リ多数ノ死傷者ヲ出シタル事例アリ

此書乃
 一、扶
 延、拒、扶
 此、延、扶
 此、延、扶
 此、延、扶
 此、延、扶

然傷者疎

17

ハ職員以下中合セ、釀金蓄積シテ死者ニ對シ官
役人夫死者手ヲ規則ノ給與ヲ補足スルモノアリ
私立工場ニ就テ見ルニ或種ノ大工場ニ於テハ扶
助ノ方法稍ニ備ハリ一定ノ扶助規則ヲ定メ疾病
共済組合ノ如キ仕組ヲ設ケ手時ヨリ工業主及職
工ニ於テ裁合ノ釀金ヲ爲シ以テ不時ノ用ニ供ス
スルナキニ非スト然レ其方法仕組ノ遺憾ナク行
ハレ職工徒第ヨリテ安シテ業ニ就カシムルノ實
アルハ稀ナリ加之多クハ是等ノ方法ヲ設ケル
コトナク事アルニ當リ工場主ヨリ多クノ扶助金
ヲ支出シ職工中ヨリ釀金シテ給與スルヲ例トシ
其金額ハ即死又ハ重大ナル負傷ニ對シテモ通常
二三拾圓乃至五六拾圓以下ニシテ百圓ヲ出ツル

五風紀

五ノハ稀ナリ甚シキハ何等ノ扶助ヲ爲スコトナ
キモノ亦少カラス
都會ノ地其ノ他多數ノ工場集中セル地方ニ在ル
工場ノ寄宿舎ニ寄宿スル工女ハ殆ント何レノ望
類何レノ地方ニ於テモ一般ニ風紀ノ紊亂實ニ言
フニ思ヒサルモノアリ工女カ男工ト私通スルハ
殆ント日常普通ノ事ニシテ殆トモ其情ヲ容
赦男教女ニ關係スルノ類ニシテ結局墮落シ了ル
ナリ青年ノ男工中ニハ工女ヲ玩弄スルヲ樂トシ
俗豪ナル貸銀ニ甘スルモノアリ年長ノ工女中ニ
ハ男工ノ媒介ヲ爲シテ多クノ報酬ヲ受クルヲ副
業ノ如ク心得ルモノアリ工場主ニシテ係員男工

茅工セニ關係シタルヲ利用シテ足留ヲ回リ利
用セサルモ之ヲ奇貨トシテ暗ニ足留ノ効アリト
喜フ場合モナキニ非ラス又村落小市街地ニ在ル
工場ニ於テハ附近ノ若者等ハ夕方ヨリ工場ノ近
傍ニ集リ来リ工セニ鉄以テ無上ノ快樂ト爲ス
ノ事例ハ屢見聞マル所ナリ又工セニ直接スル監
督員ニシテ工セノ美醜ニ依リ偏頗ノ處置ヲ爲ス
ハ勿論其地位ヲ利用シテ工セニ挑ミ肯ザル者ニ
ハ報復ノ手段ヲ施スカ如キハ多数ノ係員我エヲ
痛使スル工場ニ於ケル通弊ナリトス小工場ニ於
テハ工場主又ハ其子弟ニシテ工セヲ威嚇シテ之
ニ關係ヲ付ケ工セ^夜爲ニ主婦等ノ怨ヲ買ヒ遂ニ
身被鐵道往生等ノ慘劇ノ演スルコト稀ナリトセ

19
ス大工場ニ於テハ工ノ寄宿舍ニ男工ノ入ル
カ如キコトナキモ工場附近ニ散在セル煮賣屋餅
屋菓子屋下宿屋等ハ男工ノ密會所タルモノ多
シ殊ニ職工下宿屋ノ状態ニ至リテハ衛生上ト云
ヒ風紀上トモヒ人ヲシテ一驚ヲ喫セシムルモノ
アリ是等ノ下宿屋ハ大阪其他ノ地ニ於ケル大工
場ノ附近ニ多ク散在シ多ハ普通ノ住屋長家ヲ
以テ之ニ交テ中ニハ下宿屋トシテ建築シタルモ
アリ或ハ物置ニ階ノ一隅六疊位ノ所ニ男女混同
拾四五人位モ雜居シ其中ニハ所謂夫婦者モアレ
ハ獨身者モアリ其積改良ニタルモノト云男女
室ヲ異ニスルモ其間ニ區畫ヲ設ケヌ或ハ一區
畫ヲ設ケルモ裏面ハ交通自由ナルヤリ聞ク所ニ

依レハ一度此種ノ下宿屋ニ入リタル者ハ其趣味
得テ忘ルヘカラス工場ニ於ケル賃金待遇等ニ多
少ノ不満アルモ容易ニ他ニ轉スルコトナレ是ヲ
以テ工場主中ニハ暗ニ其戕工足番ノ効アルヲ喜
フノ事情ナキニ非ラスト云フエセニテ此種ノ
下宿屋ニ入ル者ハ多クハ其私通シタル男エヲ起
シテ行ク者等ニ墮落シタル者ナリ是等ノ下
宿屋ニ於テハ何等男世ノ行為ニ関接セサルノミ
ナラス其主人ハ多クハ無頼ノ輩ナルヲ以テ却テ
青年無謀ノ男女ヲ煽動シ惡徳ヲ恣ニセシメ
ト企ツル者アル位ナリ
ト企ツル者アル位ナリ
寄宿舎及下宿屋ノ生活カエ女ノ品性風紀ニ及ホ

概シテ

ス影響ハ獨リ男世ノ關係ニ止マラス彼等ハ所謂
女子ノ身嗜ナルモノヲ矢ニ他日一家ヲ作り子世
ヲ養育スルカ如キ女子タルノ氣質ヲ缺キ殊ニ炊
事洗濯等家事ニ関スル事ハ一切無頓着ナルヲ以
テ彼等ノ中特ニ帰國スル者アルモ遂ニ之ヲ娶ル
者ナキヲ常トス現今工場ノ世エト云ヘハ人ノ之
ニ數スルヲ耻ヅルモノ故ナキニ非カルナリ

雇人契約

工女ノ父元ニシテ五六四乃至二十四位ノ前借
 金ヲ得シカ爲其子女ヲ生糸機業等ノ工場ニ年
 期奉公ニ入ルコト猶婚嫁ニ於ケルカ如キ
 事情アリ地方ニ依リ此種ノ工女ヲ買子ト称シ
 其境遇寧ろ婚嫁ヨリモ憐ムヘキモアリ人身賣
 買ノ思想今尚蟬脱セサルヲ以テ紡績等ノ諸工
 場ノ職工募集ニ應セシムル場合ト虽氏本人ハ
 勿論其父兄モ亦入場後ハ一切工場主ノ任意シ
 ルベク之ニ対シ何等ノ條件ヲ附シ契約ヲ爲シ
 得ヘキモト心得ス又契約スルモ制裁ノ道ナ
 キモノト諦ノ居ルノ状態ナリ是ヲ以テ彼等ハ
 如何ナル条件ノ契約書ニモ盲判ヲ捺ス代リニ
 敢テ之ヲ履行スルノ意思モナク工場主モ亦工

女等、到底履行シ得サルモノト知リツ、不當
苛酷ノ条件ヲ約諾セシム是ヲ以テ雇傭契約
基礎確實ナラス結局工場主ハ器械的ニ壓抑ヲ
試ミ工女等ハ陳ラ以テ逃出サントスルコト、
ナル等種々ノ弊害依テ起ルナリ之ヲ要スル=
現時工業主ト職工徒弟殊ニ工女トノ四滿ナル
調和ハ到底契約關係ヲ以テ律スヘカラサルナ

小工場ニ於テハ職工ノ賃銀ヲ定メス年未半期
等ニ適宜ノ計算ヲ爲シテ之ヲ拂渡スコト、シ
而テ職工ハ隨時必要ニ應シ内借ヲ爲ス是ヲ以
テ職工ニシテ往々借越ヲ爲シタル低逃亡スル
者アリ又工場主ニシテ未拂賃金ヲ其終ニシテ

あつたやうな條件を課せしむる所に入。

廢業シ又ハ年末半期ニ一小部分ノ支拂ヲ爲シ
 其餘ハ否應ナシニ借越スナリ大工場ニ於テバ
 賃金ヲ一定ノ時期ニ之ヲ支拂フモ事業ノ繁
 閑ニ依リ是元ヨリ鳥五ツカ如ク急ニ翌日
 日給額賃金率ヲ上下スルヲ常トス而モ職
 工ハ當初賃金ニ関シ何等ノ契約ヲ爲サステ
 雇傭年限ノ契約ヲナセルヲ以テ彼等如何ナ
 賃金ニ付シテ勞務ニ服スルノ義務ヲ負
 リ而テ女工ハ賃金ノ急劇ナル減額ニ遇フモ
 上ムナキコト、諦メ殊ニ寄宿舎ニ在ル者ハ逃
 亡困難ナルヲ以テ賃金ノ高下ニ依リ退場ス
 ル者少キモ成年男工ニ至リテハ表面解雇ヲ求
 ムルコト能ハサルヲ以テ無斷ニ他ニ轉スル

工女募集

職工殊ニ工女募集ニ関スル弊害ハ言語ニ絶セ
 リ工女ノ職工募集ニ應シテ他地方ヨリ来レル
 者ハ何レモ皆多少募集人等ノ口車ニ載セラレ
 タルナリ試ニ紡績工女ノ募集ニ就テ云ハシカ
 正直ナル募集人ト虽モ労働時間ノコトハ成規ノ
 通り十時間乃至十二時間ナリト云ヒテ而モ居
 残徹夜ノコト昼夜交代業ノコト迄ハ言ハス賃
 金ハ優等工女ノ所得ヲ示シ新参方等者ノ所得
 迄ニハ言ヒ及ハス旅費支度料工場衣ヲ給與ス
 ト云ヒテ而モ月賦償還ノコトニハ言ヒ及ハス
 賃金ノ所得ノコトハ云ヘトモ寄宿舎ノ食料藥
 價等ノ支出ノコトニハ言ヒ及ハス寄宿舎ノ食料藥

物ハ一ヶ月一回又ハ一ヶ年数回ノ稀有ナル例
 ラ示シテ而モ平素ノ粗惡ナルニハ言ヒ及ホサ
 ス稀有ナル運動會幻燈會ノ如キコトハ毎度ノ
 コトノ如クニ思ハセ真似事ニ過キサル教場ヲ
 モ堂々タル女學校ノ如ク誤解セシノ数年間ニ
 一人カ二人モアリタル工女ノ貯金額ヲ示シテ
 容易ニ巨額ノ蓄財ヲ爲シ得ルカ如ク勤工女ニ
 寄宿舎ノ外出ハ容易ニ之ヲ許サハルニ拘ハラ
 テサレハ容易ニ之ヲ許サハルニ拘ハラヌ新参
 者モ自由ニ外出シ得ルカ如ク説キ浅草京極千
 日前等ノ見物ハ勤工女ニコソ一ヶ月ニ一回
 位ハ出来レ新入後二三ヶ月ハ思ヒモ減ソナル
 コトタルニ拘ハラス到着早々思フ終ニ見物ノ

出来ルカ如クニ説キ一時間ノ休憩ハ二組交代
ニテ三十分宛休憩スヘキモノタルニ拘ハラス
一時間ヲ通シテ休憩シ得ルカ如クニ思ハシム
ル物類ニシテ而モ是等ハ正直ナル募集人ニシ
テ且此ノ如クナルナリ彼等ハ積極的ニ虚偽
ノ言辞ヲ用イストスルモ一方ニ工女ノ利益ト
ナルヘキ事物ヲ隠蔽セルヲ以テ朴訥ナル田舎者
益ノ事物ヲ隠蔽セルヲ以テ朴訥ナル田舎者
亦無理ナラサルナリ然レトモ朴訥ナル田舎者
ト虽氏餘リニ甘キ話ナルヲ以テ少ク思慮アル
者ハ果シテ募集人ノ云フ力如キ事實アリヤ否
多少ノ疑ヲ揮マサルニ非ス是ヲ以テ募集人ハ

24
最後ニ最重要ナル虚言ヲ用ヒテ田舎者ヲ欺カ
サルヲ得サルコト、ナル即募集人ハ自介ノ言
フコトニ些ノ虚言ナキコトヲ誓ヒ若萬々一問
違ヒアランニハ工女ハ何時ニテモ行李ヲ収メ
テ郷里ニ歸ルコトヲ得ヘシ試ニ都見物ト思ヒ
テ應募シ来ルヘシ無銭ノ都見物モ亦可ナラス
ヤト吁是実ニ募集人カ慣用スル所ノ最大虚言
ナリ無言ノ田舎娘等ハ上陳ノ如キ甘言ニ信賴
シテ工女募集ニ應シ来ルモノ比々然リ而モ
前陳ノ例ノ如キハ寧正直ナル募集人ノ行爲ニ
シテ通常之ヨリモ甚シキ虚言ヲ構、欺キテ連
ミ来ルナリ殊ニ紹介業者人買杯ノ手ニ力、リ
タル者モ少カラスシテ是等ハ全然物品同様ニ

先カラ先へ連レ行カル、ナリ紡績工女ノ多数
ハ前陳ノ如キ奸計ニカ、リ應募シタルモノナ
ルヲ以テ彼等ハ入場早々事實ノ全然相違セル
ニ驚キ怨ミ歸國ノ決心ヲ固メ機會ヲ見テ逃走
シ企ツル者頗々跡ヲ断タス
工女ノ募集ニハ工女一人ニ付若干ト云フノ價
ヲ懸ケテ百方妙齡ノ女子ヲ搜索セシムルヲ常
トス此ニ於テ土地ノ博徒無賴漢惡婆等ハ謠詐
百端或ハ全然予女ヲ略取シ然ラサルモ屋敷奉
公ニ周旋スト称シテ工場ニ送り、機場ニ入ル、
ト称シテ紡績工場ニ入ラシメ、或ハ工場ノ名義
ヲ詐称シテ他工場ニ連レ行ク等誘拐ノ手段ヲ以
用ヒ然ラサルモ甘言ヲ以テ予女父兄ヲ欺キ以

職工争奪

テ手教料ヲ貪リ甚シキハ應募者ヲ工場所在地
ニ連行ク途中ニテ程々スルモノアリ
新ニ工女ヲ募集スル場合ノミナラス工場相互
ノ間ニ職工ヲ争奪スル弊アリ殊ニ職工紹介
業者等ニシテ甲工場ニ勤務セル工女ヲ種々ノ
手段ヲ以テ誘出シ他工場ニ入ラシメテ其間
ニ利ヲ貪ルノ例多シ又甲工場ニ於テ工女中允
ノ利キタル者ヲシテ詐リテ乙工場ニ入ラシメ
其工場ニ於テ勤務中機ヲ見テ他ノ工女ヲ勧誘
シ之ヲ引率シテ甲工場ニ歸ラシムルノ事例アリ
リ工場ノ技手事務員等ニシテ其工場ノ工女ヲ
引率スルノ条件ヲ以テ高給ヲ要請スルノ類アリ

生糸工場ニ於テモ殊ニ諏訪地方ノ如キ職工ノ
 募集競争奪ノ弊害甚シキモノアリ例ハ生糸ノ景
 気好況ナル年ニ於テハ沿道地方ニ募集人ヲ派
 出シ己ニ他ノ工場ト約束ヲ結ビタル工女ヲ欺
 キ自己ノ工場ニ引入レ乗合馬車ノ取者ニ利ヲ
 啗ハシテ他ノ工場ニ約束アル工女ヲ自己ノ工場
 ニ送り来ラシメ他ノ工場ノ女工カ外出セルトキ
 浮浪ノ徒ヲシテ之ヲ途ニ要シ拉シ来ラシムル
 カ如キ非常手段ヲ用ユルコトアリ
 織物工場ニ於テモ福井地方ノ如キ其他機業ノ
 盛大ナル地方ニ於テハ多少工女競争奪ノ弊害
 テサルハナシ
 鉄江硝子印刷其他各種ノ工場ニ於ケル男女工

様ニ就キテモ少ク景気ノ好キ時季ニ於テハ皆同
 ノ弊害ヲ蒙ルモノナリ

57

職出入

都會ノ地及工場ノ集中セル地方ニ於テハ職工ノ

出入頻繁ニシテ熟練ナル職工ヲ得難キニ苦マサル

工業ハ寧グシテ而テ新工ヲ募集如何ト爲ス

職工出入ノ頻繁ニシテ最モシキモノタ

紡績工場ハ大阪地方ノ紡績工場ノ如キ毎月通

常職工總數ノ一割ハ工場ヲ去リ一割ハ新ニ之ヲ

補充セサルヘカラス例ハ千人ノ職工ヲ僱使スル

工場ニ於テハ毎月百人ノ退場ト百人ノ入場トス

誤ナリ是ヲ以テ終歲間断ナク工女ヲ募集スルニ非

サレハ能ク必要ナル人員ヲ維持スルコト能ハス而

テ二三年以上ノ経験ヲ有スル職工ト甚大ク多クハ

半年又ハ一年以内ノ無経験者ヲ使用スルコトナ

ルナリ其弊ヤ職工募集費ニ於テ多額ノ支出ヲ要

スルノミナラス驚クヘキ多数ノ職工ヲ僱使セサル
ヘカラス例ヘハ外國ニ於テハ一萬鎊ニ對シ女子ハ
二三十人多キモ百人ヲ出ササルニ拘ラス不邦ニ
於テハ六七百人即晝夜各番ニ約三百人乃至三百
五十人ヲ要セリ其他職工ノ不規律不熟練ナル爲
機械器具ノ取扱製品ノ粗悪屑物消耗品等諸般ノ
点ニ於テ損失ヲ蒙レリ而テ職工出入ノ此ノ如
ク頻繁ナル所以ノモノハ職工募集ノ際甘言ヲ用
イテ誘拐半分ニ子女ヲ連来リタルモノナルト勞
働ノ困難ナルト生活ノ状態全盤從來ニ異ナリ心
身ヲ慰スルモノナキトニ依リ新入者ハ入場後若干
モナクシテ若^若手^手段ニ依リ退場スルヲ以テ十
リ又此等ノ辛酸ニ堪ヘユ場ニ殘ルモノモ多クハ風

紀ヲ察リ多数ノ男子ニ接シ其間種々ノ事情ヲ生
レテ退場スルアリ或ハ紹介人無賴漢等ニ誘惑セ
ラレ又ハ彼等ト共謀シテ彼此ノ工場間ニ轉々ス
ル所謂渡職工トナルアリ稍眉目ノ佳キ者ハ娼妓
酌婦淫賣等ト爲ルモノアリ此ノ如ク遠國ヨリ
募集ニ應レテ紡績工場ニ入りタル女工ノ成績ハ
概不結果ニシテ多クハ墮落シ疾病ニ罹リ或ハ死
亡シ能ク健康ヲ金ヲシ幾分ノ貯蓄ヲモナシテ郷
里ニ歸リ人ノ妻トレテ耻ムサルモノ、如キハ殆
ント之ナキヲ以テ一度多数ノ子女ヲ紡績工場ニ入
ラシメタル地方ノ如キモ多クハ遂ニ之ヲ嫌厭スル
ノ状態ナリ是ヲ以テ紡績工女ノ募集ハ益々困難
トナリ募集員ハ漸次山間遊地ニ入り工女ヲ求ムル

ト同時ニ諸部百端半ハ誘拐ニ等シキ手段ノ行ハル
ニ至ル當業者中身ハ婚姻ヲ以テ女工ノ出入ノ
繫ナル一原因タルカ如クニ説ク者アレトモ紡績
工場ノ女工ニシテ莫ニ婚姻ノ爲餘義ナク退場ス
ル者ハ出入總數ノ半ニ達セシメテ情ヲサレヘシ
生糸織物等ノ工場ニ於テハ紡績工場ノ如ク女工
ノ出入ノ繫ナラスト雖事業ノ景氣好況ナルトキハ
ハ所謂職工半奪ニ依リ女工ノ出入ノ繫ナルニ苦
ハ場合大カラス
鉄工場其他一般ノ工場ニ於テハ景氣ノ好況ナルト
キハト工場ニ於テ高キ賃銀ヲ以テ大工場ノ職工
ヲ誘致シタル不景氣ナルトキハ之ヲ解雇シ解雇
セシメタル者ハ又俸手ヲ求メテ大工場ニ入ラン

トスルナリ是ヲ以テ大工場ノ極端ニ貯水器ノ
如ク不景氣ニシテ仕事ノ大キトキハ盛職工ヲ持
テ餘シ景氣ノ良好ニシテ仕事ノ多キキハ益職
工ノ不足ニ苦ムノ状況ナリ

29
工場主ハ大抵職工ヲシテ賃銀ノ幾分一月二日分
又ハ二日分位ヲ強制貯蓄セシメ以テ保証金ニ充ツ
タレトモ職工ノ是ヲ留ムルニ足ラサルヲ常ト
ス是ヲ以テ工場主ハ次クモ寄宿職工丈ハ之ヲ足
留セント欲シ百方其逃亡ヲ防クノ策ヲ講シ其極
限寄宿職工殊ニ女工ニ對シテ束縛ヲ加フコト嚴シ
過クル場合多シ就中新入女工ニ對シテ進リトス
るの續工女ノ工場来リテ寄宿舎ニ入ルヤ概皆慕

集員ノ甘言ヲ信賴シタルモノナレハ彼等ハ入舎
 後事實ノ余ク豫期ニ遠シ塵埃音響甚度ノ堪ヘ難
 キ場ニ於テ慣レサル仕事ニ長時間側目ヲ振ル
 コトモナラス殊ニ夜ニ働キテ晝ニ眠ラサルヲ得
 サル晝夜交代業アリ衣食其他生活ノ状態ハ全
 田舎ノ生活ト異リ食フモノハ口ニ通セズ見ルモノ
 ハ眼ヲ慰スルニ由ナク耳ニ入ルモノハ厭氣ヲ起
 サシムルノ種トナリ加之動モスレハ監督者罵詈
 雑言スル所トナリ古参ノ朋輩ハ往々ニシテ威福
 ヲ次ニセシントスサナキヲ彼等ハ漸ク望御ノ念ヲ
 起サントスル所ナレハ彼等ハ到底堪ユル能ハス
 心ニ募集人ノ虚言口車ニ載セラレタルヲ然ニ其
 言實ヲ捕ヘテ歸御ノ意ヲ達セムトスルモ先ノ募

叱咤

集員ハ數タニ見セズ停員ニ訴ヘテ歸御ヲ願ヘハ
 旅費ハ支度料ノ即金返納ヲ命セラレ又ハ頭カラ
 叱リ飛ハサルハノ此ニ至リテ彼等ハ取り付ク
 嶋ヲ失ヒ漸ク決意シテ機ヲ見テ寄宿舎ヲ脱出セ
 ント欲シ辭ヲ描ヘテ外出シ元々ニ三四回ハ叱
 リ飛ハサレ哀訴數回ニシテ初メテ外出ヲ許サル
 トキハ附添人ヲ附セラルヲ以テ逃走ノ機會ヲ
 得ズ止ムヲ得ス牆壁ヲ超ヘテ脱出セントスルモ
 晝間ハ戸締嚴重ナルノミナラス牆壁ハ高ク聳ヘ
 見張番ハ巡邏警衛セリ加之誰某ハ牆壁ヲ超ヘン
 トシテ見張番ニ捕ヘラレ苛責セラレタリ杯ノ風
 説ニ怖氣主テ容易ニ決意シ断行スルコト能ハ
 ス心弱キ者ハ其儘寢入ニ半歳一年ト過ル間

江戸
三宅治三郎
スコト・ナリ
強キ者ハ風雨ノ夜ニ乘シ見張番ノ目ヲ窺ヒテ高
堀ヲ乘リ起ヘ逃ケオハスルアリ陽ニ恭順ヲ懐ヒ
テ休日ノ外出ニ着換ノ一枚モ帶ノ下ニ隠クシテ
其儘逃走スル者ハ上乗ノ智者ナリトス然レトモ
係員モ亦往々此牛ニカ・リ經驗アルヲ以テ容易
ニ新参者ヲ信用セズ余程信用シタルユ女ト雖給
金ノ支拂日ニ先ツコト兩三日ノ間ニ休日ニ際會
スルコトモイランニハ慰勞ノ爲メ出テ許スコト
アリ而モ尚モ参ユ女ト同伴セシメ暗ニ逃ニシ防
ノ注意ヲ爲ス位ナリ如キ事態ニ特ニ紡績
工場ニ限ラス生糸織物等ノ工場ニ於テモ多ク之

31
ニ類スルモノアリ是ヲ以テ工場主ハ
盡クシテ逃亡ヲ防カント欲シ余リニ戸締ヲ嚴シ
テ火災ニ降シ多敷ノユ女ヲ焼死セシメタルノ
事例アリユ女ト家元トノ通信ハ工場主ノ最忌ル
所ニシテ工場主ノ不徳義ナル者ハ檢閲ヲ經ルニ非
ザレハユ女ノ發信スルコトヲ許サズ外部ヨリノ来
信ハ披見シタル後差支ナキモノハユ女ニ交付シ
然ラサルモノハ忘レタル真似ゾ爲シテ時機ヲ過キ
タル後之ヲ交付シ又ハ紛失シタルカ如ク装フモ
ノナキニ非ス或ハ眉目ノ清癯ナル男ユニハ腕前
以上ノ價銀ヲ拂ヒテ暗ニユ女ノ逗留ト爲レ或ハ
係員カ熟練ユ女ニ關係ヲ付ケタルヲ奇偵トシテ
暗ニ逗留ノ効アリト喜フモノアリ

戸締り壁に嚴ニシテ避ルノ注意ヲ缺キタル工場に
テ試ニ其非常ニ際ニハ險ノ虞ナキヤト問ハシ工場
主ハ皆風紀ノ取締上必要ナル所以ヲ陳スヘシ聞
者亦多クハ以テ工場主ノ注意周到ナリトナス勿
論寄宿工女ノ風紀紊乱ニルコト甚シキヲ以テ之
カ爲相當ノ取締ヲ爲スコト必要ナリト雖多クノ
工場主殊ニ戸締り嚴ニシテ避難ノ注意ヲ缺ケルモ
ノ、如キハ必シモ工女ノ風紀ノ注意周到
ナルニ非サルナリ
試ニ思ヘ解雇ノ積工ノ勤勉正直ヲ期スル爲有カ
ナル制裁タルヘキ答ニ昨スヤ然ルニ寄宿工女ニ
對シテハ解雇ハ寧無上ノ恩典ト考ヘラレ尙モ彼
等ヲ罰裁スルノ効力ナキヲ常トス是ヲ以テ寄宿

工女ニ對スル懲罰ハ一面彼等ヲ抑留シテナカラ彼
等ノ賃金ヲ没收シ減額シ又ハ待遇ヲ薄クスルニ
在リ是ニテ之ヲ觀ルモ寄宿舎ニ於ケル工女ノ
境遇ヲ推知スヘキニ昨スヤ且夫健弱ナル婦女子
カ深夜風雨ニ乘シテ牆壁ヲ越ヘ或ハ十数里ノ山
越ヲ爲シ或ハ食ハス飲マシテ逃亡シ企ツモノ
頻々トシテ跡ヲ絶タサル所以ノモノハ彼等ヲシ
テ此等酸ヲタモ毎スルニ由ナカラシムル所以ノ
モノアルニ非サルナキヲ得ンヤ

32
職ノ實質現時職ニシテ工場労働ヲ以テ終身ノ事業ト爲
スノ覺悟アルモノハ稀ナルハ憂フヘシ鉄工木工
硝子吹ノ如キ特殊ノ技術ヲ要スルモノハ幾分カ
其業ニ安スルノ傾アレトモ是トテモ思慮アル者

ハ何時負傷シ不具癆疾ト爲ルヤ難計キヲ以テ可
成建ニ至リ洗ハントシ希ヘリ男、ユ、多クハト
賣商等ト爲ランフヲ希望スルモノ、如シ又テ織機
場ノユ、ニシテ工場ヨリタル後自家ニ於テ賃
織ノ業トセント欲スル者ノ類アリト雖女、ユ、ニシテ
工場勞働シ終身ノ業務ト爲サムト欲スル者ナキハ
勿論終身從事シ得ヘキモノトハ夢想クモセサル
カ如シ現時紡績工場ノ如キ其他大工場ニ於ケル
實況ニ徴スレハ局外ヨリ觀察スルモ勞働時間ト
云々殊ニ晝夜交代業ノ如キ到底婦女子ノ永ク堪
ヘ得ル所ニ非サルノミナラス女子ノ社會的生活
ト相容レサルモノナレハ彼等カ工場勞働ヲ以テ
一時ノ腰掛仕事ト心得機會、アラン限リ他業ニ

轉セントスルハ無理ナラヌ次第ナリ

年期徒弟ニシテ技術ニ習熟シタルトキハ年期
中去リテ他工場ニ轉スルモノ多シ是ヲ以テ工場
主ハ徒弟ノ養成ヲ不利益ナリト爲シ徒弟制度ハ
漸次衰滅ノ傾アリ

職上ノ嗜好野郎ナルハ勞働社會一般無教育ナルニ
依ルヘシ其結果トシテ男、ユ、概シテ賭博ト女郎
買トヲ以テ娛樂ノ理想ト爲セルモノ、如シ獨身ノ
男、ユ、ニ至リテハ其賃金ヲ以テ此ニ若シ入レ上タル
者比々皆然リ十五六歳以下ノ少年、ユ、ニシテ夙ニ
年長者ノ感化ヲ受クルモノアルハ殊ニ憂フヘシ是
ヲ以テ職、ユ、ニシテ少年ノ貯蓄ヲ爲スモノ、如キハ極
テ稀ナリ

工場主ト
職工ト對

近時各種ノ工場トモ職工徒弟ノ出入漸ク頻繁ナ
加フルト同時ニ工場主ニ對シ種々ノ要求ヲ爲シ
動モスレハ同盟罷工又ハ之ニ類スル暴動ヲ爲ス
漸次多キニ至レリ是ヲ以テ工場主ハ同業組合
ヲ設ケ其規約ヲ以テ職工徒弟ノ取締ヲ爲サントス
ルモ、多シ且其規約ハ動モスレハ賃金額マテモ一
定シ不當ノ壓抑ヲ試ミントスルノ傾向アリ之ト
同時ニ鉄工ノ如キハ率先シテ職工組合ヲ設ケ同
盟シテ工場主ニ當ラントシ現ニ之カ処置ニ苦メ
ルノ工場アリ又勞働者保護ヲ以テ自ラ任スル者
ニシテ或ハ團體ヲ設ケ或ハ新聞雜誌ヲ發行シ或
ハ演説會ヲ開キ言論ニ文書ニ勞働者ノ利益ヲ發
揚セントシ或ハ直接勞働者ニ立交リテ其利益ヲ

37
圖リ或ハ身ヲ勞働社會ニ起シテ其幸福ヲ増進セ
ントスル者漸ク多キニ至レルハハ注意ヲ要スル
事態ナリトス

二、弊害矯正、必要

工場及職工ニ関スル現時ノ弊害ヲ顧ミテ憂慮ニ堪ヘサル所以、モ、甚多シ彼ノ汽罐ノ破裂、工場及寄宿舎、構造設備ニ関スル缺點等ニ依リテ直接公安及公益ヲ害スルカ如キユ女ノ略取誘拐等ニ依リテ公安秩序ヲ害スルカ如キ類ハ素ヨリ速ニ之カ矯正ヲ要スルコト勿論ナリトシテ更ニ大ニ憂慮スヘキモノアリ今其重ナルモノヲ擧ゲン

一、機械的ノ工業ニ伴フテ多敷ノ死傷者ヲ生スルコト及之ニ対シ扶助ノ方法備ハラサルコト
 二、職工殊ニ幼女若及婦女ノ健康ヲ害シ延
 民一般ノ健康ヲ害スルコト就中或種ノ物工

中ニ結核病者多キコト

三職工ノ一般ニ無教育ナルコト殊ニ幼少者ガ
國民教育ヲ受クルコトナク成長シテ、アルコト

四職工殊ニユ女ノ風紀紊乱セルコト並家族の
生活ニ通セサルコト

五職工ノ貯蓄思想乏シキコト

六以上ノ諸弊害ヨリ延テ多数ノ窮民ヲ生スルノ虞
アルコト

七以上ノ諸弊害ヨリ延テ工業ノ發達ヲ阻害スル
虞アルコト

八工場主及職工相互抗争スルノ形勢已ニ成レル
コト並産業社會ノ擾乱ヲ醸生シ延テ國家ノ
發達ヲ阻害スルコト

是ナリ

思フニ原動力ヲ使用スル工業ノ發達ニ伴ヒ多数

ノ死傷者ヲ生スルハ免ルヘカラサルノ數ニシテ

之ヲ扶助ノ方法備ハラサルトキハ獨リ本人又ハ

遺族ヲシテ飢餓ニ注カシムルノミナラズ鰥寡孤

獨廢人ノ多数ナルニ及ンテハ不測ノ累ヲ社會ニ

加サ、ルヲ得ヌ且大ク思慮アル者ハ災害ノ未ダ

至ラサルニ及ンテ危險ナル工場労働ヲ避ケ安キ

ニ就カンコトヲ望ムヲ以テ其結果永ク精練ナル

職工ヲ使用スルコト能ハス從テ工業ノ發達ヲ阻

害セントス獨リ机止ノ難論ニ非スレテ用當事

者ノ救済セル所ナリ是ヲ以テ工場ニ於ケル死

傷者ノ扶助ハ速ニ其兇備センコトヲ望マサルヲ得

養疾
不見

ス
 凡労働者ノ生計上 **（推）** 一ノ資料ト爲ルモノハ身体、
 健康ト修得シタル職業トナリ彼等ハ父祖ノ遺産
 アルニ非ス親戚知人ノ援助ヲ受クヘキモノアルニ
 非ス **（推）** 健康ナル身体ヲ労役シテ衣食住ノ計ヲ
 爲スノ外他ノ其途ナキヲ常トス是ヲ以テ其身ノ
 健康ハ労働者ノ取りテハ一層大切ナル生存条件
 ニシテ若シ此生存条件ニ缺クル所アリシカ彼等及
 彼等ノ子弟ハ窮民ノ伍ニ入ル外ナキモノナリ
 是ヲ以テ労働者ノ健康ヲ保全スルハ **（推）** 彼等ヲ
 保護スル所以ニ非スシテ **（推）** 國家ノ繁榮進歩
 ヲ期スルカ爲メ労働者ノ健康ヲ保全スルハ **（推）**
 必要ナルカヲ **（推）** 國家ノ **（推）** 經費ヲ
 必 **（推）**

授シテ多數ノ貧民ヲ救助セサルヘカヲサルニ至
 加之労働者ハ國家ノ主タル富源ニシテ労働
 者力能ク其健康ヲ全フシ各其所ヲ得テ業務ニ勉
 ムニ非スシハ何ヲ以テ産業ノ發達ヲ期スルコトヲ
 得ンヤ
 又労働者ノ健康ハ直接ニ國民一般ノ健康ニ影響
 シ及ホスヲ以テ國家衛生ノ基礎ハ之ヲ労働社會
 ニ置カサルヘカラス彼等各種傳染病カ先労働
 社會ニ發シテ遂ニ後一般ニ傳播スルノ事實ハ此
 理ヲ説明シテ餘アルモノナリ是ヲ以テ **（推）** 女
 等ノ間ニ諸病多シト云カガ如キハ最寒心スヘ
 キノ事實タリ **（推）**

而一該病、毒病原菌、侵襲、依
 十、其結核病、引起スル所以、モ、ハ、
 育、不長、其他、身体、一般、不健康ナル、在、
 争、フヘカ、ラ、サル、事、實、ナリ、サ、レ、ハ、幼、若、ノ、腐、敗、如
 婦、女、年、ノ、徹、夜、業、ノ、如、キ、過、長、ノ、勞、働、時、間、ノ、如
 事、情、ノ、許、ス、限、リ、速、ニ、之、ヲ、排、除、ス、ル、ニ、非、ス、ン、ハ
 獨、リ、工、業、上、著、大、ナル、障、害、ヲ、蒙、ル、ノ、ミ、ナ、ラ、ズ、國、防
 上、亦、恐、ル、ヘ、キ、結、果、ヲ、生、ス、ル、コ、ト、ナ、リ、ト、セ、ズ、是、ハ、臆
 測、ニ、非、ス、レ、テ、世、界、ノ、先、進、國、ニ、於、テ、曾、テ
 經驗、シ、タル、所、ナリ
 職、工、ノ、全、然、無、教、育、ナル、コ、ト、殊、ニ、幼、若、女、年、ノ、國、民
 教、育、ヲ、受、ケ、ス、レ、テ、成、長、シ、マ、ル、ハ、最、憂、慮、ス、ヘ

キ、ナ、リ、諸、種、ノ、弊、害、ハ、是、ヨ、リ、起
 弊、害、ノ、教、育、事、及、依、ニ、此、ノ、根、底、ニ、於
 ナ、ル、結、果、ト、シ、テ、工、業、上、ノ、不、利、益、甚、大、ナ、ル、蓋、シ、機、械
 的、工、業、ニ、ハ、銳、敏、ナル、智、能、ノ、發、達、ヲ、要、シ、工、場、組、織
 ノ、工、業、ニ、ハ、規、律、的、ノ、行、動、ト、命、令、ヲ、遵、奉、ス、ル、ノ、氣
 質、ヲ、要、ス、ル、必、要、ト、ス、ル、ニ、拘、ハ、ラ、ズ、普、通、教、育、ヲ、受、ケ
 サ、ル、者、ハ、是、等、ノ、点、ニ、於、テ、教、育、ヲ、受、ケ、ル、者、ニ、比、シ、テ
 大、ニ、缺、ク、ル、所、アル、カ、爲、メ、工、業、經、濟、上、非、常、ナル、不
 利、益、ヲ、ル、コ、ト、ハ、工、場、經、營、者、ノ、常、ニ、浩、嘆
 ナ、ル、所、ナ、リ
 職、工、殊、ニ、女、ノ、風、紀、紊、亂、甚、シ、キ、ハ、種、々、ノ、原、因、ニ
 依、ル、ヘ、シ、ト、雖、亦、彼、等、無、教、育、ニ、伴、フ、ノ、弊、害、ニ、

而モ教育ニ依ルニ非サレハ到底矯正スルコト能
 ハサルモサリ而テ彼等ノ風紀ハ製品ノ品質産額
 ニ影響ヲ及ボスコト大ナルハ勿論定テ社會一般
 風紀ニ至大ノ關係ヲ有スル又彼等ハ一家ヲ以テ子
 ヲ養育スルノ氣質ヲ失ヒ故事洗濯等家事ヲ料理
 スルノ素養ヲ缺クノミナラス勞働時間ノ如キ熾
 夜業ノ如キ勞働社會ノ家族的生活ヲ破壊スルノ
 傾向アルハ憂フヘキナリ
 現時職工一般其業務ニ安シセサルノ氣風アルハ
 工業上最要ヲヘキコト論ヲ俟タズ彼等ハ概野蠻
 ノ思想之レヲ以テ先後ニ及ンテ無能ノ窮民ト
 爲リ或ハ一朝災害ニ遭遇シ公共ノ救助ヲ要スル
 ニ至ル此点ニ於テ機械的工業ノ勞働者ハキ工業



勞働者ト趣ヲ異ニスル場合多シキ工業ニ於テハキ工業生活
 爲メニ必要ナル技能ヲ授ケルニ要スルコト
 尤年ニ及フニ比較的永ク其職業ニ從
 事シ得ルナリ然ルニ機械的工業ニ於テハ之ニ及
 スルヲ以テ勞働者ハ壯年ヲ過クルコト久レカラス
 シテ其職業ヲ失フノ虞アリ況テ機械的工業ニ於
 テハ負傷ノ爲メ不具廢疾ト爲ルノ虞多キニ於テ又
 是ヲ以テ機械的工業ノ發達ト共ニ益々職工教育
 ノ普クシテ野蠻ノ思想ヲ養成スルノ必要大ナルモノ
 ナリ

機械的工業ハキ工業ト異リテ幾多ノ固定資本ヲ
 要スルノミナラス規模ノ大ナランコトヲ欲スルヲ
 以テ無資ノ職工ヲ獨立シテ物品ヲ製造シ自ヲ取

ハサルナリ近時職工徒弟力工日主ニ対シ
不
業ヲ出カシテ住々之ナリト同時ニ工場主
利ヲ種々要求ヲ爲シ同盟罷工ヲ頼ム
新リ試ムル持論モナリト雇主(並ニ持論)反抗ヲ企ツルコト生
兆ナリ而シテ工場主ハ聯合シテ其弊ヲ矯メ
組合ヲ結シテ職工徒弟ノ取締ヲ爲シ且勤モ
スレハ不當ノ壓抑ヲ試ミントスルノ形勢アリ又
十才ニ米ヲ職工相ノ間ニ團體ヲ作り共同
シテ雇主ニ當ラントスルモノアリ加之世間ノ任
使ヲ以テ任スル者人道ヲ以テ呼号スル者等勞働
者ニ勢援ヲ與ヘ勤モスレハ雇主被雇者ヲ問隔シ
テ憚ラサルモノアリ之ヲ要スルニ工業社會ニ於
テ雇主被雇者墨ヲ對シテ相争ハムトスルノ形勢

己ニ成レリ世間或ハ此点ニ就キ樂天的觀察ヲ爲スモノアリ曰ク本邦ニ於テハ廢者被廢者^{相親}義風今尚存セリ而テ此義風ハ人情風俗然ラシムル所ニシテ容易ニ埋滅スルモノニ非スト然レトモ是未^{皮相ノ見解}事實ヲ探究セ^ハル蓋手^ハ工的小工場ニ於テハタトヒ往々ニシテ職工虐待ノ事實アリトスルモ大体ニ於テ今尚主従相親ムノ状ヲ存セリ然レトモ多數ノ職工徒勞ヲ働使スル工場ニ於テハ之ニ反セリ^被必^シモ欧米ノ諸工場ニ於ケルト多ク異^{ナル}言ハルチ人々^ハ必^シモ^ハ罪ニアラス^{本邦ノ人情風俗ニシテ外}國ニ比シ異ル所アリトスルモ依テ以テ廢者被廢

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

下
保
而
百
生
七
期

若相対抗スルノ弊害ヲ故フコト能ハサルハ勿論ナリ
抑テ本邦ニ於テ比較的發達シテハ彼ノ所評ナ
仕使ナル實績アリ延テ雇主被雇者間ノ問題ミ不
同ナリ
是レ不逞ニ於テカ任侠ノ道大ニ起リ依テ以テ彼
等ノ至リサルヲ補フト同時ニ弊害ノ之ニ伴ハ
事實ハ未ダ耳目ニ新ニモ其遺風ハ今高市井
ノ間ニ存シ任侠ノ舉又ハ任侠ヲ行フノ舉ハ事ノ
善惡ヲ問ハス客面ニ人心ニ振ナルモノ、如シ是
ヲ以テ之ヲ及ヒシニ關ル各般ノ弊害ガシ
永ク之ヲ放任セシメテ之ヲ止ムルコト易々
者起テ任侠ヲ行フヲ人心ヨリ止ムルコト易々

忌ムハキ結果ルコト勿論ナレハ是等ノ幼者
 二対シ工場労働ヲ禁止スルノ必要アルヤ論ヲ
 疾タス
 少年者及婦女モ亦^{工場生活ノ爲メ}外^内事情労働ノ程度ニ係
 健康ニ影響ヲ受クルコト甚シキモノアリ只
 之ヲ幼者ニ比スレハ其程度ニ於テ異ナル所ア
 ルノミ是ヲ以テ少年者ノ労働ニハ適當ノ制限
 ヲ加フルノ必要アルハ勿論婦女ハタトヒ成年
 ニ至ルモ之ヲ成年男子ニ比セハ其資質健康ニ
 影響ヲ受ケ易キノミナラス彼等ハ自己ノ健康
 ニ害アリ利益ニ及スルコトヲ知ルモ他人ノ誘
 惑威壓等ニ対シ之ニ反抗シテ自己ノ意志ヲ遂

ルヘカラス而テ職工徒弟ノ衛生ニ関スル弊害
 ニ付テハ特リ工場ノ構造設備ヲ完セシムルノ
 ミナラス職工殊ニ幼者少年及婦女ノ労働ニ法
 令ヲ以テ制限ヲ加フルノ必要アリ
 教育ニ関スル弊害モ亦然リ諸フサク之ヲ并セ
 併ナ^新結^核病^子、^癩癩^通、^バリ^チ、^鉅等^金属^品、^貝鈕^印刷^機
 巻煙草等ヲ諸工場ニ於テ七八歳乃至十二三
 歳ナル幼者ヲ成年者ト同様長時間ノ労働ニ従
 事セシメソフアルノ事實ハ前ニ之ヲ掲ケタリ
 抑モ是等ノ幼者ノ外^内事情労働ノ程度ニ係
 健康ニ影響ヲ受クルコト勿論ナレハ是等ノ幼者
 間任^務ノ有^スル^ニ係^ル長^時間^一定^ノ場^所

行スルノ力ニシテ容易ニ外部ノ事情ニ制セラ
ル、ヲ常トス例ハ過長ノ居残操業ヲ爲サシ
メラル、カ如キ疾病ヲ犯シテ工場ニ入ラシメ
ラル、カ如キ長日月間外出ヲ禁セラル、カ如
キ信書ヲ検閲セラル、カ如キ皆婦女ノ意志薄
弱ナルヲ行ハル、カ如キ皆婦女ノ意志薄
害ハ婦女ノ意志薄弱ナルニ基ケル、若シ成年男工
ニ対シテ此等ノ事アラシメシカ彼等ハ其意志
ノ向フマ、直ニ反抗ヲ試ミシノミ、是レ婦女
ハタトヒ成年者ト雖モ成年男工ト同一視スル
コト能ハサルヲ重ナル理由ト加シテ之ヲ依
ル衛生ハ職トシテ其母タル者ノ手當如何ニ依
ルヲ以テ此点ヨリスルモ亦婦女ハ男子ト同一

45
視シ難キモノアリ
或ハ曰ク職工ニシテ業務ニ堪ハサル者ハ自ラ
辞シ去ルヘキカ故ニ法令ヲ以テ之ニ干渉スル
コトヲ要セスト是レ主工女ノ境遇ヲ解セサルモ
ノナリ彼等ノ多クハ職工募集人等ニ誘惑セラ
レテ工場ニ入りタル、或ハ前借金ノ爲ニ父兄ヨ
リ賣ラレタルカ若ハ之ニ類スルモノナリ彼等
ハ工場ヲ去ラント欲スルモ工場主ノ許諾ヲ得
ルコト能ハサルハ勿論焉高クシ取締ヲ嚴ニ
シ容易ニ逃亡スルコト能ハサルナリ然ラサル
モ容易ニ上長者ノ威赫シ又ハ誘導スル肝トナ
ルナリ是ヲ以テ契約自由ノ原則ノ如キハ彼等
ノ境遇ヲ律スルコト能ハサルナリ

次ニ教育上ヨリ觀察セシニ多教ノ少年殊ニ學
 齡兒童カ國民教育ヲ受クルコトナク魚教育ナ
 ル多教男女ノ間ニ伍シテ横思スヘキ舉動ヲ見
 昇猥ナル談話ヲ聞クコトナレハ其感化ノ及フ
 所終身脱離シ難キモノアリ又抄齡ノ女子ハ將
 未家庭ヲ作ルヘキ素養ト氣質トヲ缺キ滔々ト
 シテ墮落シツハ職工教育ハ前ニ之ヲ陳ヘタリ尤工
 場ニ依リテハ職工教育ノ施設ヲ為セルモノナ
 キニ非スト虽氏概テ十二時間以上ノ労働ヲ終
 ムルモノ復疫勞シテ概テ子女ニ對シ教育ヲ試
 全然無効ナリト言テ可ナリ思フニ工場主ヲシ
 テ其僱使スル職工徒弟ニ教育ヲ授ケシメント

46
 スルハ得テ望ムヘカラス勿論慈善ナル工場主
 カ就業時間ノ一部ヲ割キ教育ヲ授クルノ施設
 ヲ爲サムコトハ望マシケレトモ是種ノ慈善家
 ハ千萬人中指ヲ屈スルハ能ハサルヲ以テ
 到處多教労働社會ノ改良進歩ヲ期スルコト能
 ハス又一般ノ工場主ニ對シ職工教育ノ義務ヲ
 負ハシムルハトモ畢竟外形勸ニ止リ教育ノ効
 果ヲ収ムルコト能ハサルヤ明ナリ故ニ國家ノ
 制度トシテハ工場主ニ對シテハ學齡兒童ノ備
 使ニ依リテ其教育ヲ妨ケシノサルヲ期シ而テ之
 十而國家ノ教育機關ヲ擴充シ強制教育ノ趣旨
 ヲ勵行スルヲ在リトモ面々人可ク
 教育ニ関シテ亦特ニ學齡兒童
 入僱使ヲ制限スルコトヲ定メしむ

者及婦女ノ労働ヲ制限スルノ必要アリ抑教育
ハ家庭教育ト國民教育トニ分ルベシ然レモ
習教育及社會教育ハ労働社會ノ少年者ニ對シテハ
殊ニ重要ナルモノナリ是ヲ以テ少年職工
ヲシテ長時間ノ労働ニ其氣力ヲ消磨セシメ又
他ヲ顧ミルニ遑ナカラシムルハ彼等ノ智識ヲ
啓蒙シ品性ヲ養成スルノ道ニ非ス又幼者少年
ノ家庭教育ハ其畢生ノ品性氣質ヲ陶冶スル所
以ニシテ最重ヲ置クベキハ勿論ナリ而テ幼少
者ノ家庭教育ハ職トシテ一家ノ婦女殊ニ母タ
ル者ノ注意ニ依ルモノナルヲ以テ婦女ノ労働
ヲ制限シテ以テ家庭ヲ荒廢セサラシムルハ

47
労働社會ノ家族的生活ヲ維持スル所
職工ノ教育ニ関スル弊害ヲ匡正スル爲メ幼者少
年及婦女ノ労働ニ制限ヲ加フルノ必要アルコ
ト如シ然ルニ世間或ハ労働社會ニ國民教
育スルモノアリ見テ專ラ之ヲ經濟上ノ原因ニ
歸スルモノナク若幼少ナル子女ノ労働ヲ
廢シテ之ニ教育ヲ施サントセハ却テ彼等ヲ餓
死セシメサルベカラスト然レトモ是ハ貧民
ノ実狀ニ通セサルノ說ナリ如ク労働社會ノ
實情ヲ觀ルニハ非サルモ女子教育ノ必要ヲ
解セサルニハ非サルモ女子教育ノ必要ヲ
爲メテ教育ヲ等閑ニ附スルモノナリ
若シテ女子教育ノ必要ヲ認ムルハ

深、福利ヲ捨テ、眼前ノ利害ニ左右セラル、ハ
過、幼者カ工場其他ニ於テ労働ニ依リ賃金ヲ受
クハ、幼者カ工場其他ニ於テ労働ニ依リ賃金ヲ受
全、斑ヲ速断セルハ、一説ナリ、是ハ都市ノ一端ヲ見
ニ、改良ヲ見タルハ、一説ナリ、是ハ都市ノ一端ヲ見
働、社会ノ業務増加シ、爲ニ多シ、余裕ヲ生シ、タ
ル、ト一面都市ノ衛生及警察上ノ必要ニ依リ、貸
長、家及溝渠ノ改築、清潔方法ノ実施、乞食ノ放逐
等、種々ノ原因ニ依ルモ、ニシハ、心スシモ、加重
幼、少者ノ労働ニ置クコト能ハサルナリ、加
幼、少者ノ労働ニ置クコト能ハサルナリ、加

而、即チ女子ノ教育、必要ヲ全然解セサル者
ハ、女子ノ教育ヲ爲シ、得サル者ハ、必要ニ驅ラ
九、人ノ生計ハ、貧富ヲ通シ、テ意外ニ伸縮ノ余地
ヲ、存スルモノナリ、試ニテ、少ク、貧民ノ一、降
觀、察セシ、カ同一ノ業務ニ従事シ、同ノ収入ニ
依、テ生活スル、貧民ニシテ、甲者ハ、教育ノ必要ヲ
認、ムルコト切実ニ、子女ノ將來ヲ慮ルコト深キ
カ、爲メ、之ヲ学校ニ入ル、モ、乙者ハ、教育ノ必要
ヲ、悟ルコト薄ク、服、懲ニ急ナルカ、爲メ、子女ヲ
工場ニ通ハシムル、類ハ、比々之ヲ見ルナリ、思
フ、ニ、教育ノ効果ハ、之ヲ朝夕ニ収ムヘカ、ラサル
ヲ、以テ遠慮ニ乏シキ労働社会ニ於テ、遠キ將來

者ノ労働ニ依リ其得タル賃銀ハ買喰其他無用
 ノ事ニ賞消セラル、モノ多ク能ク父兄ノ生計
 ニ資スルモノハ寧ロ少キカ如シ或ハ年長者ニ
 立交リテ夙ニ賭博ノ資ニ供スル等却テ彼等ヲ
 墮落セシムル所以ノ具タル場合アリ處ヲサル
 ハカラサルナリ
 或ハ又幼者ノ労働ノ効果ニ重キヲ置キ之ヲ以
 テ工業經濟上欲クヘカヲサハル必要アルカ如ク
 二想像スル者アリト雖氏工論上十二歳以下
 ノ幼者ハ原料ノ消費ニ或ハ器物ノ損傷ニ或ハ
 操業ノ妨害ニ其他經濟上得ル所ハ幼者ノ傭使
 ヲ償ハサルカ如シ是ヲ以テ此種ノ幼者ノ傭使
 又少年者婦女ノ労働ノ制限ハ工業ノ發達ヲ阻害ス
 方法程度ニ依リテ工業ノ發達ヲ阻害ス
 ルカ如ク想像スル者アリト雖氏適當ナル制限
 ハ工業ノ發達ヲ阻害ス
 業永遠ノ發達ヲ期スル爲ニ必要ナル労働ヲ
 モノタシ何ントナレハ幼者少年婦女ノ労働ヲ
 制限スルハハ畢竟職工徒弟ノ健康ヲ
 保全シ教育ヲ普及スルニアリ而テ健康ニシテ
 教育アル労働ハ結局労働ノ効果ヲ増進スルモ
 ナリ然ルニ職工ノ衛生及教育ノ
 状態ヲシテ今日ノ如クニ放任セシカ將來職工

者ノ労働ニ依リ其得タル賃銀ハ買喰其他無用
 ノ事ニ賞消セラル、モノ多ク能ク父兄ノ生計
 ニ資スルモノハ寧ロ少キカ如シ或ハ年長者ニ
 立交リテ夙ニ賭博ノ資ニ供スル等却テ彼等ヲ
 墮落セシムル所以ノ具タル場合アリ處ヲサル
 ハカラサルナリ
 或ハ又幼者ノ労働ノ効果ニ重キヲ置キ之ヲ以
 テ工業經濟上欲クヘカヲサハル必要アルカ如ク
 二想像スル者アリト雖氏工論上十二歳以下
 ノ幼者ハ原料ノ消費ニ或ハ器物ノ損傷ニ或ハ
 操業ノ妨害ニ其他經濟上得ル所ハ幼者ノ傭使
 ヲ償ハサルカ如シ是ヲ以テ此種ノ幼者ノ傭使

スルモノナリ是ヲ以テ工場主ヲシテ
病傷者ヲ生セサラシムルハ勿論一旦病傷者
ヲ生シタルトキハ之カ扶助善後、途ヲ講セシ
ムルハ素ヨリ取極メテ然レトモ工場主
ノ完全ナル扶助善後、負担ヲ苦シムル事
成セシメムルハ工場主ノ思想ヲ養
職工ヲシテ共済組合、災害ニ備ヘシ
積セシメテ以テ不時ノ災害ニ備ヘシ
欲ス工場ニ寄宿セル職工徒弟ノ死傷ニ
亦事情ノ前項ニ類スルモノアルヲ以テ
シテ亦適當ナル規定ヲ設ケ其弊害ヲ芟
ルヘカラス

成ルベク
工場主ノ
思想ヲ養
職工ヲシ
テ共済合
積セシメ
欲ス工場
亦事情ノ
シテ亦適
ルヘカラ
ス

四法令制定ノ方針及法令ノ要領
凡ソ事物善悪ニ拘ハラズ急激ナル變動ハ不
測ノ結果ヲ生スルノ恐アリ経済上ノ事物
関シテ殊ニ然ルハ是ヲ以テ工場及職工ニ関
スル弊害ノ矯正ニ就テハ可成急激ノ變動
避シテ期シ大休ニ於テ雇傭ノ関係ニ深
ク立入ルコトヲ避ケ直接公安公益
職工徒弟ノ保安衛生教育風紀等ニ関スル事項
ヲ範圍スルニ止メ又法令ヲ適用スヘキ
工場ノ範圍ハ工場組織ノモノト勿論ナ
スルモ或種ノ条項ハ自家工場又ハ之ニ準ス
ベキ工場ニ及ホスノ必要ナキニ非ラス然レ氏
是ヲ漸次適用ノ範圍ヲ擴充スル、適當ナルヲ

労働法

信ス之ヲ要スルニ工場及職工ニ関スル弊害ノ
矯正ハ本條ニ於テ漸進的ニ達センコトヲ期シ以
歳月ヲ假シテ目的ノ地ニ達センコトヲ期シ以
テ急激ナル變動ヲ避ケンタル規定ヲ設ケムカ
漸進ノ方針ヲ以テ急激ナル變動ヲ避ケムカ
ノニハ法律ヲ以テ詳細ナル規定ヲ設ケムカ
ヲ許サス加シテ法律ヲ以テ詳細ナル規定ヲ設
ルハサハ各般ノ場合ニ對シテ法律ニ適應スル
能ハサルノ弊アルヲ以テ法律ニ適應スル原則
ヲ規定シ特別ノ場合ニ對シテ法律ニ適應スル
如キ又ハ當分ノ内ヲ猶豫シ若クハ寛和スベキ
除外例等ノ如キハ之ヲ勅令ニ讓ラントス

由リ

以上五條ニ結
弊害ニ照シテ法令制定ノ必要ニ認ムル
シ宜ヲ制スヘキモノニシテ必スシモ放任ニ偏
スヘカヲサルト同時ニ又必スシモ干渉保護ニ
失スベカラサルハ常ニ事物ノ是ヲ以テ國家ノ法
議スルモノハ常ニ事物ノ是ヲ以テ國家ノ法
當ナル断案ヲ下スノ餘裕ヲ存セサルハカ
然ルニ一方ニ偏スル者ハ仔細ニ他ノ方面ヲ
察スルニ餘裕ヲ存セサルハ仔細ニ他ノ方面ヲ
按スルコトナク僅ニ其外形ヲ臨ニテ妄断ヲ下
スノ謗アルヲ免レス工場及職工ニ関スル事實

現在ノ

要ニ應

看ル

之ヲ

ノ調査ヲ爲スニ當リテハ保安衛生教育等ニ関
スル方面ヲ觀察スルト同時ニ、~~可成~~経済方面
ニ對スル觀察ヲ怠ラザラムコトヲ期セリ世ノ
工場及職工ニ関スル制度ヲ論議スル者ニ對
シテ先其自ラ偏スル所ヲ去テ公平ノ見地ニ立
テ各般ノ方面ヨリ事實ノ表裏ヲ觀察シテ断案
ヲ下サムコトヲ望ムヤ切ナリ
工場及職工ニ関スル弊害ノ矯正ニ就テハ大体
ニ於テ漸進ノ方針ヲ採ルヘキモ其着手ハ急ヲ
要スルモノアリ加之急激ナル變動ヲ避ケンカ
爲ニハ可及限速ニ弊害ノ矯正ニ着手シ而シテ
徐口ニ歩武ヲ進メ以テ漸次矯正ノ目的ヲ達ス
ル餘裕ヲ存セムコトヲ望ム若シ夫レ停頓遲

疑センカ遂ニ救フヘカラサルノ害惡ヲ歟長シ
亦徐口ニ矯正ノ策ヲ施スノ餘地ナカラントス
事此ニ至リテハ急激ナル變動ヲ避ケント欲ス
ルモ勢ヒ得ヘカヲサルナリ是工場及職工ニ関
スル法令制定ノ急ヲ要スル所以ナリ



